



阿蘇市の光インターネットはブロードバンド

光ネットワーク事業

ニュース No. 3



本市は、来年春の供用開始に向け光ファイバー整備を進めています。この整備が皆さんの暮らしに便利さをプラスするものとはいえ、情報系の仕組みは専門用語が多くなかなかわかりづらいもの。そこで今月号では、ブロードバンドについてわかりやすくご説明します。

総務省は、デジタル・ディバイド（情報通信格差）解消戦略の一環としてブロードバンド・ゼロ地域や携帯電話の不感地帯の解消を目的としています。デジタル・ディバイド戦略においては、ブロードバンド基盤に関する整備目標として、

- (1) 2010年度末までに、ブロードバンド・ゼロ地域を解消
- (2) 超高速ブロードバンドの世帯カバー率を90%以上

とすることとしているほか、情報通信関連事業の進捗状況等について、フォローアップを行い、2010年度を目途に100%の世帯でブロードバンド基盤整備を推進しています。

阿蘇市においても、阿蘇谷内の一部や山間部を中心にブロードバンド環境が整備できていない状況にありますので、2010年度に整備していきます。

■ブロードバンドって何？

ブロードバンドは英語でBroadbandと書きます。これは、broad（広い）とband（帯域）という言葉を組み合わせて作られた言葉です。

インターネットなどの通信で信号（データ）をやりとりする道のことを帯域といって、この帯域が広ければそれだけたくさんのデータを短い時間でやりとりできるようになります。

反対に、ブロードバンドでないものは、ナローバンドといいます。これは、Narrowbandと書き、narrow（狭い）と、band（帯域）という言葉を組み合わせて作られた言葉です。

ブロードバンドとナローバンドの境界は、実はきちんと決まっているわけではありません。いろいろあるインターネットの接続方法のうち、速いものをブロードバンド、遅いものをナローバンドと呼んでいます。今のところナローバンドに分類されているのは、ダイヤルアップ接続やISDN接続などの狭い回線です。

これに対してブロードバンドに分類されるのは、光ファイバー、ADSL、高速無線などがあげられます。

この内、光ファイバーではADSLや無線に比べ通信速度が速く、また伝送損失（距離による通信速度の低下）が少ないことが特徴でADSLや無線のように基地局周辺でなくとも離れた場所でも高速通信を行うことができます。

もちろん、サーバーやパソコン、回線の混み具合など、そのときの状態によって速度は変わってきます。阿蘇市の光インターネットはブロードバンドになりますので、映画や音楽などのような大量のデータをやりとりするようなことも短い時間でできるようになって、インターネットを快適に使えるようになるのです。

たとえば、電子メールに添付ファイルがある場合でも、しばらく待つのが当たり前だったのが、光インターネットではほとんど意識しないで使えるようになったり、ビデオカメラで撮った映像などの大きな添付ファイルのやりとりもストレスなくできるようになります。

また、最近では多様化するウィルスに対応する為や性能の向上などの目的でOSの更新をインターネットからダウンロードして行うことが多くなっています。このような作業はブロードバンドならではのと言えるかもしれません。

さらに、ブロードバンドでは大量のデータを扱えるだけでなく、料金が定額制で常時接続にできるということも大きなメリットです。

常時接続にすると、メールの着信チェックなどをメーラーの機能で定期的に自動でチェックできたり、ウィルス対策ソフトの更新の通知などが随時受信できたりと、便利なことがたくさんあります。

〈問い合わせ先〉情報課 ☎ 2 2 - 3 2 5 3